



合計											0							
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	個別施設計画策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
30-C1	施設整備	一般	各務原市	直接		無電柱化	0.55	那816号線電線共同溝事業	引込設備一式	各務原市						1	-	
30-C2	施設整備	一般	各務原市	直接		駐輪場整備	0.55	駐輪場整備事業	駐輪場整備一式	各務原市						32	-	
30-C3	施設整備	一般	各務原市	直接		防犯灯修繕	0.55	防犯灯LED化事業	防犯灯N=9000	各務原市						148	-	
合計																181		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
30-C1	市道那816号線電線共同溝事業については、那816号線の電線共同溝本体管路の設置にあわせ、各家庭への引込設備を同時に整備することで効果が上がる。																	
30-C2	駅に接続する那965号線の整備に伴い、駐輪場の整備をすることで安全で快適な利用を図る。																	
30-C3	道路整備と合わせて防犯灯修繕をすることにより、道路を利用する自転車および歩行者の安全・安心を確保する。																	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考			
									H25	H26	H27	H28	H29					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考

**事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		歩道整備等歩行者、自転車の安全通行空間の確保、舗装や道路施設の修繕を実施し、道路機能を確保している。次期整備計画にて当該事業を継続し、引き続き、生活空間の安全確保及び防災の向上に資する道路整備を推進する。																	
II 定量的指標の達成状況	指標①(各務原市内で存在する道路に関する各種課題(無電柱化、歩道未整備等)の解消率)	最終目標値	80.0	目標値と実績値に差が出た要因	一部の路線において地権者及び関連事業者との調整に不測の期間を要し、事業完了に遅れが生じた。														
		最終実績値	64.0																
	指標②(道路ストック(舗装、横断歩道橋、照明灯)の修繕)	最終目標値	80	目標値と実績値に差が出た要因		舗装補修や標識灯の付属物点検が、他の道路改良事業を優先させたことにより、進捗に遅れが生じた。													
		最終実績値	62.0																
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)																			

**3. 特記事項(今後の方針等)**

当該整備計画は終了するが、引き続き防災安全社会資本整備交付金を活用し、歩道整備、補修を実施し、道路の安全性向上を目指す。